

京都府文化力による京都活性化推進条例に基づく「京都こころの文化・未来創造ビジョン」
改定後の施策体系(案)

資料

基本戦略(基本的な施策)	基本課題
1. 文化活動を担う人づくり	①次世代の文化体験の充実 ②若手芸術家等の育成 ③伝統産業や伝統芸能等を伝承する人材の育成 ④障害者、高齢者等の文化活動の充実
2. 文化の保存及び継承	⑤伝統文化、生活文化の保存、継承 ⑥文化財の保存・継承・活用
3. 新たな文化の創造	⑦多様な交流による文化創造 ⑧人々を魅了する文化を繋げる
4. 文化資源を生かした 地域づくり	⑨地域における文化活動の振興 ⑩文化資源を活用した観光、まちづくり
5. 文化資源を活用した 経済の活性化	⑪アート市場の拡大 ⑫文化産業の振興 ⑬アートと関連産業の連携
6. 多様な京都の 文化の発信	⑭京都文化の国内外への発信 ⑮文化を通じた国際交流
7. 文化活動を支える 基盤づくり	⑯文化活動を支援するための専門人材や財源の確保 ⑰文化活動拠点の整備 ⑱文化振興・発展の貢献者の顕彰 ⑲様々な機関との連携

1 文化活動を担う人づくり

①次世代の文化体験の充実

【施策の具体例】

- ・優れた芸術家等を学校等に派遣し、授業や部活動での文化体験を行う「学校・アート・出会いプロジェクト」の拡充
- ・小中学校での伝統文化、古典等の体験活動への助成の拡充
- ・高校での茶道、華道、古典を通じた伝統文化の学習の推進
- ・文化庁との共催による全国高校生伝統文化フェスティバル・茶道フェスティバルの開催
- ・地域・学校・家庭の連携により幼児から保護者まで対象にした多様な伝統文化、生活文化体験事業の実施
- ・「きょうと食いく先生」を中心とした食育活動の実施
- ・府内の美術館・博物館で構成する「ミュージアムフォーラム」参画施設での地域文化体験学習等の実施
- ・夏休み体験学習等による府内の地域文化体験活動の実施
- ・次世代を対象とした古典芸能や舞台芸術の体験・鑑賞公演への支援など

②若手芸術家等の育成

【施策の具体例】

- ・「アトリエ付きアーティストハウス」による若手芸術家の創作環境整備
- ・文化施設、空き店舗、駅、病院、福祉施設などでの「どこでもギャラリー」による発表機会の提供
- ・若手芸術家の選抜展 (Kyoto Art for Tomorrow) の開催
- ・若手芸術家自身が価値を売り込む見本市「ARTISTS' FAIR KYOTO (アーティスト・フェア・キョウト)」や若手芸術家等と企業経営者等との交流会「アートラウンジ」の開催
- ・若手芸術家が海外で研修する機会の拡充
- ・世界中から映画関係者が集まる映画制作ワークショップを実施し、京都で映画制作を行う人材を育成など

③伝統産業や伝統芸能等を伝承する人材の育成

【施策の具体例】

- ・ 古典芸能の若手演者による公演等への助成
- ・ 府立大学における和食文化学科の開設（平成31年4月）と、和食文化学会等と連携した、和食文化人材の育成・和食関連産業の振興
- ・ 伝統産業を支える若手職人や文化財修復を担う人材の育成など

④障害者、高齢者等の文化活動の充実

【施策の具体例】

- ・ 障害者、高齢者の文化活動への支援
- ・ きょうと障害者文化芸術推進機構によるオール京都体制での障害者芸術の振興
- ・ 共生の芸術祭、とっておきの芸術祭やart space co-jinでの企画展など障害のある人の文化芸術活動（展覧会等）の推進
- ・ 障害のある人の芸術作品のデジタルアーカイブ化の推進
- ・ 地域活動団体や美術館、博物館、文化団体等との連携による障害者、高齢者プログラムの推進など

2 文化の保存及び継承

⑤伝統文化、生活文化の保存、継承

【施策の具体例】

- ・「古典の日」関連事業の全国展開
- ・和の暮らし（衣・食・住）を次代に守り伝えるための取組の推進
 - － 地域・学校・家庭の連携により幼児から保護者まで対象にした多様な伝統文化、生活文化体験事業を実施（再掲）
 - － 大学生・高校生等を対象とした和装に親しむ機会の提供
 - － 日本の伝統的な食文化を学び、体験できる京都・和食の祭典の開催
- ・京都・和食文化推進会議によるオール京都体制での和食文化の推進
- ・「きょうと食いく先生」を中心とした食育活動の実施（再掲）
- ・町家や農家等での伝統的な暮らしの体験
- ・古典の朗唱会など日本文化の礎となる古典に親しめる取組の推進
- ・地域の祭りや伝統的な行催事の保存・継承を支える文化ボランティアの育成とネットワークの構築など

⑥文化財の保存・継承・活用

【施策の具体例】

- ・指定・登録・暫定登録文化財から未指定文化財までの文化財の保存、修理、防災対策の総合的な推進（ふるさと納税を活用した「文化財を守り伝える京都府基金」による文化財保全等）
- ・文化財の公開の推進と文化財を活用した様々な体験等の実施
- ・歴史的又は文化的な景観の保全、再生、活用
- ・文化財修復や伝統産業を支える技術、材料、道具類の伝承
- ・文化財修復に不可欠な漆の確保等に向けた「伝統工芸の森」事業の推進など

3 新たな文化の創造

⑦多様な交流による文化創造

【施策の具体例】

- ・ 先端技術とアートの交流・融合の場を創出し、新たなアート創造や新ビジネスを創造
- ・ 文化資源のデジタルアーカイブ化の推進とアーカイブ化した資料の活用による文化の創造
- ・ 多分野の文化芸術団体のネットワーク化と連携による文化創造の促進など

⑧人々を魅了する文化を繋げる

【施策の具体例】

- ・ 文化に府民が身近に親しめる展覧会等の開催（日本画、工芸美術、彫刻、いけばな、写真、演劇等）
- ・ 古典芸能の若手演者による公演等への助成（再掲）
- ・ 源氏物語千年紀や琳派に関する周年事業の開催など

4 文化資源を生かした地域づくり

⑨地域における文化活動の振興

【施策の具体例】

- ・地域アートマネージャーの配置を通じた作品発表を伴う地域文化資源発信型のAIR（アーティスト・イン・レジデンス）事業を開催
- ・地域団体、文化団体等による文化振興活動への支援（文化芸術振興・発信事業、文化力チャレンジ事業、地域力再生プロジェクト支援事業交付金 等）
- ・地域の生涯学習の活動拠点となる文化会館等をネットワーク化し、相互に連携した地域文化講座・体験学習の展開
など

⑩文化資源を活用した観光、まちづくり

【施策の具体例】

- ・海、森、お茶、竹など、地域資源を活用した地域づくり
- ・日本遺産を活用した観光振興（日本茶、丹後ちりめん、鎮守府舞鶴）と新たな認定に向けた取組の推進
- ・世界遺産登録に向けた取組の推進（宇治茶、天橋立）
- ・芸術系大学との連携を生かした文化による地域活性化
- ・府内の博物館・美術館や文化会館等の文化施設を核とした地域づくりの推進
- ・「丹後・食の王国」による丹後の食文化を発信する取組を推進
- ・山陰海岸世界ジオパークの保全と観光ジオツーリズムなど地域振興の推進を展開
- ・クルーズ船の寄港を契機とした周遊・滞在型観光の推進
- ・京都丹波の地域資源を活用した教育体験旅行の受け入れ拡大などふるさと交流
・おもてなし事業の推進
- ・「けいはんな」ならではの文化創造に向け、暮らしの中で文化、学術、科学を身近なものとし、様々な「知」を楽しむ教育、学習プログラム等の推進
- ・京の七夕や京都・花灯路による閑散期の夜のイベント開催
- ・2020年NHK大河ドラマと連携した広域的な観光・地域振興
- ・古道や山道を活用した自然や歴史・文化資源を巡るロングトレイルづくり
（大江山連邦トレイル、森の京都トレイル（仮称） 等）
など

5 文化資源を活用した経済の活性化

⑪アート市場の拡大

【施策の具体例】

- ・国際的なアーツ・アンド・クラフツの見本市等の開催により世界に向けた文化発信・流通戦略拠点の形成
- ・若手芸術家等と企業経営者等との交流会「アトラウンジ」の開催（再掲）
- ・若手芸術家の育成と府民が文化に親しむアートフリーマーケットの開催など

⑫文化産業の振興

【施策の具体例】

- ・DMO等による地域の文化資源を活かしたツアー造成
- ・映画、ゲーム、アニメ等のコンテンツ産業や和食の振興
- ・「京都クロスメディア推進戦略拠点（KCROP）」によるコンテンツ事業者支援
- ・「京都大学・東映太秦映像オープンイノベーションセンター」による企業やクリエイター、研究者等の出会いの場等の創出
- ・北山丸太をはじめとする地元産材のブランドを推進する「木づかい運動」の展開など

⑬アートと関連産業の連携

【施策の具体例】

- ・先端技術とアートの交流と融合の場を創出し、新たなアート創造や新ビジネスを創出
- ・文化芸術や文化資源等を活用した起業コンペティション「文化ベンチャーコンペティション in 京都」の開催
- ・文化資源のデジタルアーカイブ化の推進とアーカイブ化した資料の活用による文化の創造（再掲）
- ・デザイン力の向上による製品等の高付加価値化の推進など

6 多様な京都の文化の発信

⑭ 京都文化の国内外への発信

【施策の具体例】

- ・ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等に向けた京都文化カプロジェクト2016-2020による新文化創造・発信
- ・ 和食、古典芸能、日本画等の国際的な発信力強化への取り組み
- ・ 文化施設での展示の多言語対応や夜間開館の実施
- ・ VR、AR等先端技術等を活用した京都文化博物館のリニューアルなど

⑮ 文化を通じた国際交流

【施策の具体例】

- ・ 友好提携州省等との文化交流の推進
- ・ 留学生への文化体験の実施
- ・ 京都学・歴彩館における国内外の大学や研究機関等との研究ネットワークを活用し、「京都学」の研究を展開
- ・ 国際博物館会議（ICOM）京都大会2019において、世界の博物館の専門家に日本文化を体感できる機会を提供
- ・ 若手芸術家が海外で研修する機会の拡充（再掲）
- ・ 古都の文化体験（着物、伝統文化、伝統産業等）や和食等による観光振興など

7 文化活動を支える基盤づくり

⑩文化活動を支援するための専門人材や財源の確保

【施策の具体例】

- ・文化芸術専門人材の配置によるシンクタンク機能や持続的な事業推進のための体制の整備
- ・各広域振興局への地域アートマネージャーの配置を進め、様々な機関が連携・協働して地域の文化活動や文化資源の活用を推進するプラットフォームの形成
- ・文化活動を支える資金調達の仕組みの構築
など

⑪文化活動拠点の整備

【施策の具体例】

- ・北山文化環境ゾーンの整備推進（旧資料館跡地活用含む）
- ・長寿命化やバリアフリー化に向けた既存施設の改修・改善
- ・京都文化博物館の機能強化に向けたリニューアル
- ・府内全域での創作・発表の場の充実
など

⑱文化振興・発展の貢献者の顕彰

【施策の具体例】

- ・文化の振興及び発展に顕著な貢献をした方の顕彰（京都府文化賞、みやこの文化輝き賞、京都地域文化貢献賞（仮称）、和食文化京都大賞及び京都和食文化賞、京都デジタルアミューズメントアワード 等）
- ・地域で文化の保存・継承・発展に貢献された個人・団体の顕彰など

⑲様々な機関との連携

【施策の具体例】

- ・「京都文化芸術会議」と連携した提言・発信等
- ・美術館・博物館や文化芸術団体のネットワーク化等の推進
- ・文化庁、市町村、関西広域連合等と連携した文化振興の推進など

推進体制等

1 推進体制の整備

【施策の具体例】

- ・府の文化政策等の調査審議を行う有識者会議の設置
- ・「京都文化芸術会議」による提言・発信等の活動
- ・文化庁、市町村、関西広域連合などとの連携体制の構築
- ・総合的な文化行政を推進するための部局横断による庁内推進会議の設置及び広域振興局単位での推進体制の整備

2 数値目標（KPI）の設定と検証、計画の見直し

【指標例】

- ① 文化活動を担う人づくり
 - ・学校、文化会館、博物館、美術館等における次世代文化体験事業数、参加者数
 - ・障害者、高齢者の文化芸術活動への参加者数又は参加割合
- ② 地域文化の保存、継承
 - ・文化芸術に関するボランティア数
 - ・府指定・登録文化財件数
- ③ 新たな文化の創造
 - ・文化×先端技術・ビジネスによる交流イベント参加者数
- ④ 文化力による地域づくり
 - ・市町村や団体等が取り組む文化活動への支援件数
 - ・もうひとつの京都の取組による観光入込客数、観光消費額
- ⑤ 文化力による産業づくりと経済の活性化
 - ・文化芸術産業の経済規模（文化GDP） ※計算方法は今後研究が必要
 - ・府内で開催されるアートフェア等における販売額
- ⑥ 京都文化の発信
 - ・文化プログラムの認証件数
 - ・京都府内の外国人観光客の推移
 - ・京都府内の留学生数

⑦ 文化活動を支える基盤づくり

- ・美術館、博物館、図書館等文化施設の入場者数・利用者数
- ・地方公共団体における文化芸術に関する条例数、指針(計画)策定数